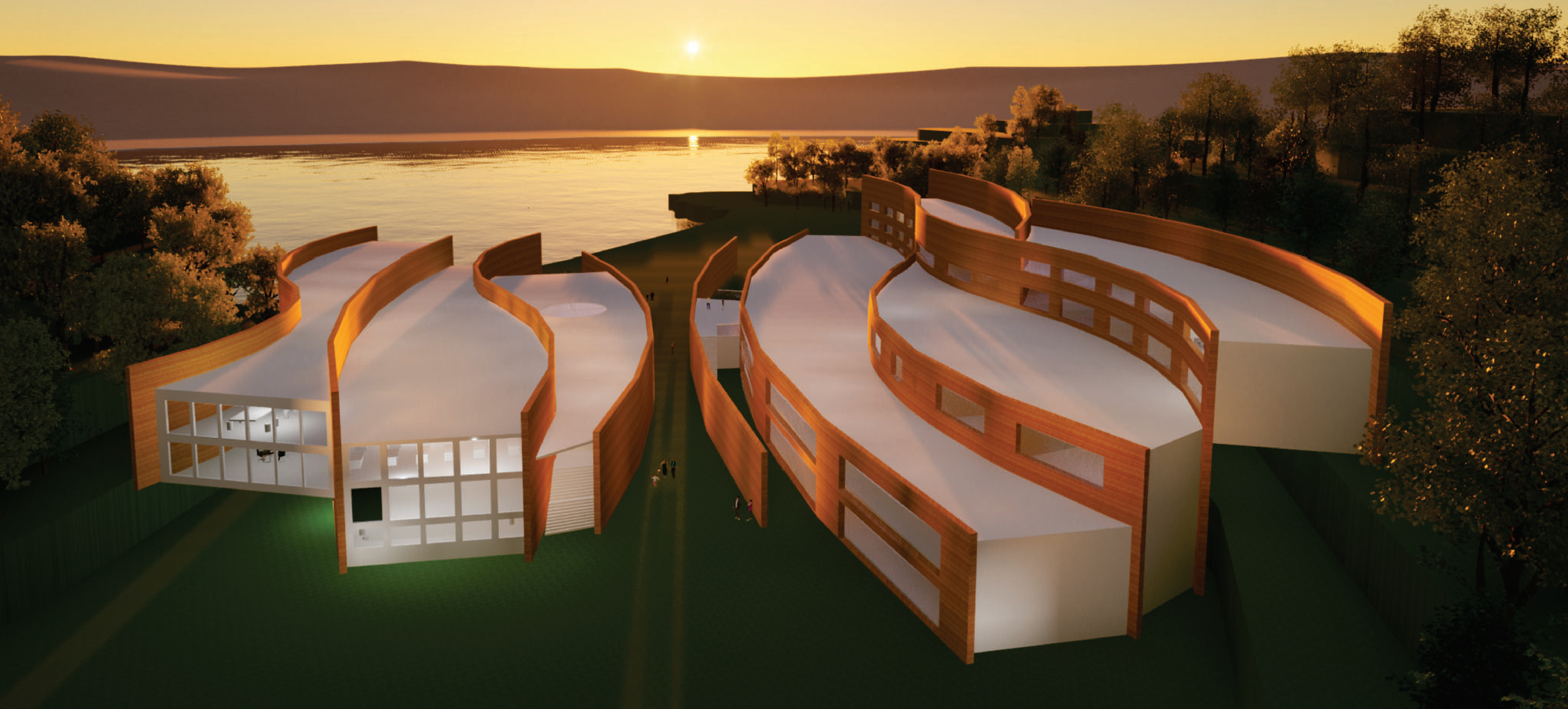


労働と余暇の共存

～仙酔島ワーケーション計画～

立花和也



1. 背景

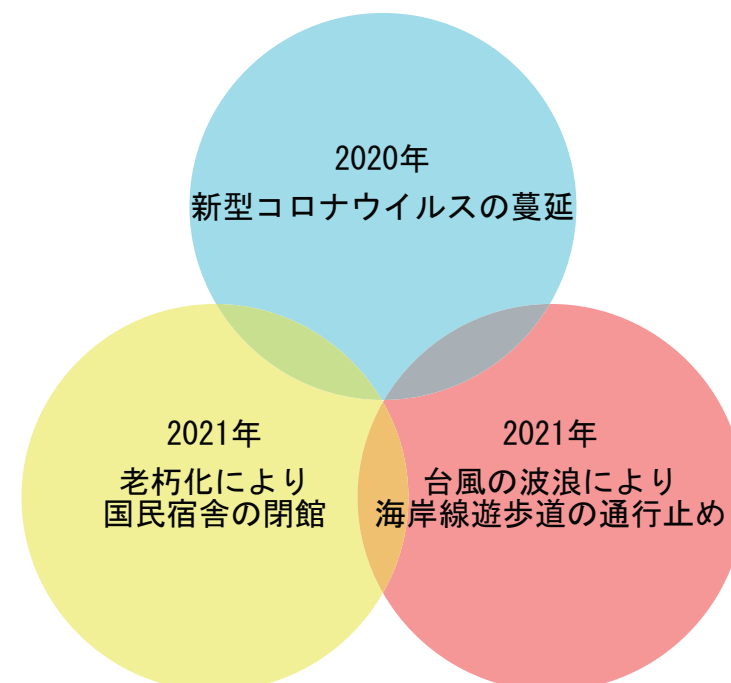
○仙酔島

- ・広島県福山市鞆町後地の東側に位置する
- ・1934年に日本で最初の国立公園に指定された「瀬戸内海国立公園」を代表する景勝地の1つ
- ・福山駅からバスで30分、鞆町にある船乗り場から5分で行くことができるアクセス性



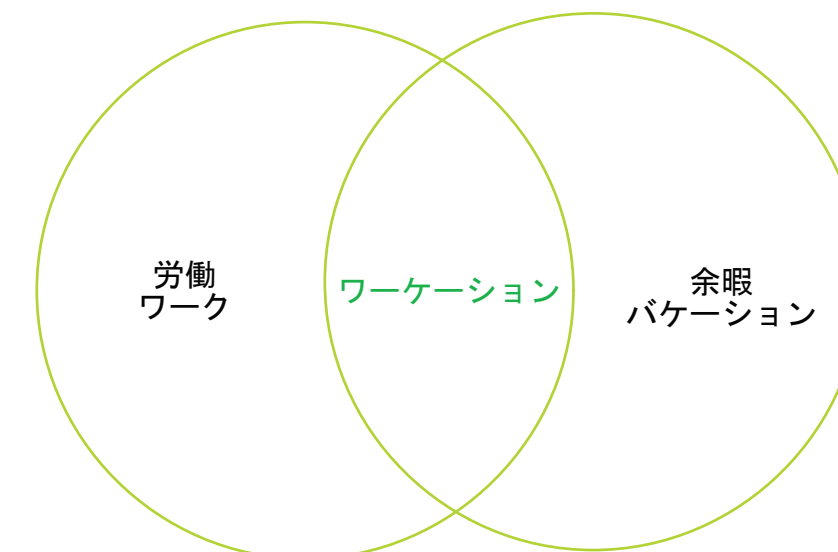
図-1 仙酔島全体図 出典:googleマップ

○観光地の衰退

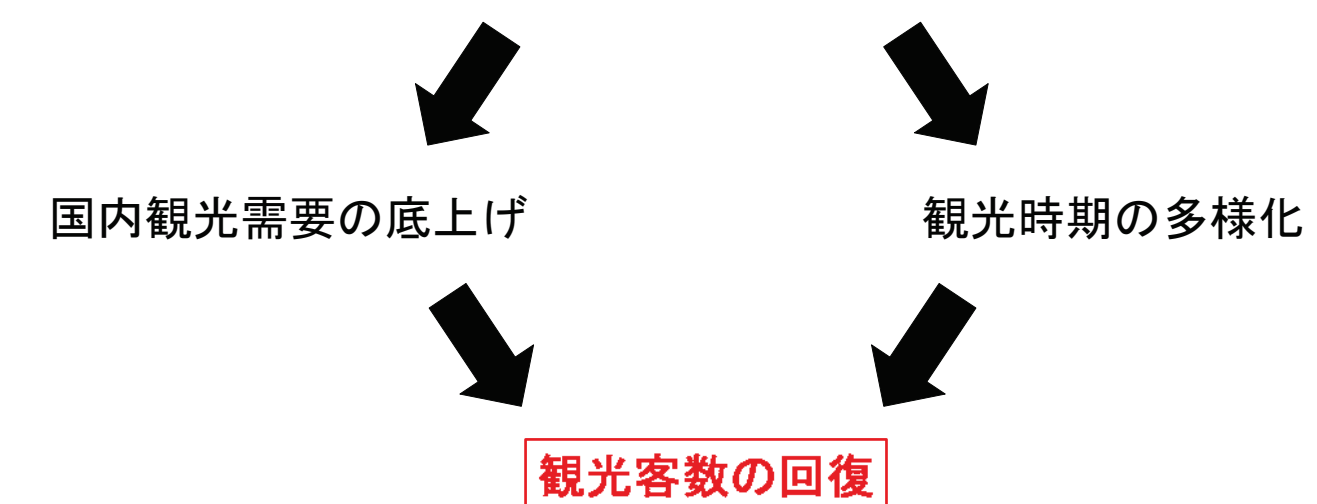


○解決策

- ・観光地の活性化という課題との関連で注目されるのはワーケーション



仕事と休暇を組み合わせた非日常的な働き方ができるワーケーション



2. 目的

本計画は、観光地である仙酔島に仕事をしながらリフレッシュすることができる宿泊兼ワーケーション施設を提案することを目的とする。テレワークの普及拡大が続く今、多様な働き方や休み方が可能となり、観光需要の底上げと観光時期の多様化を目指す。

3. 敷地

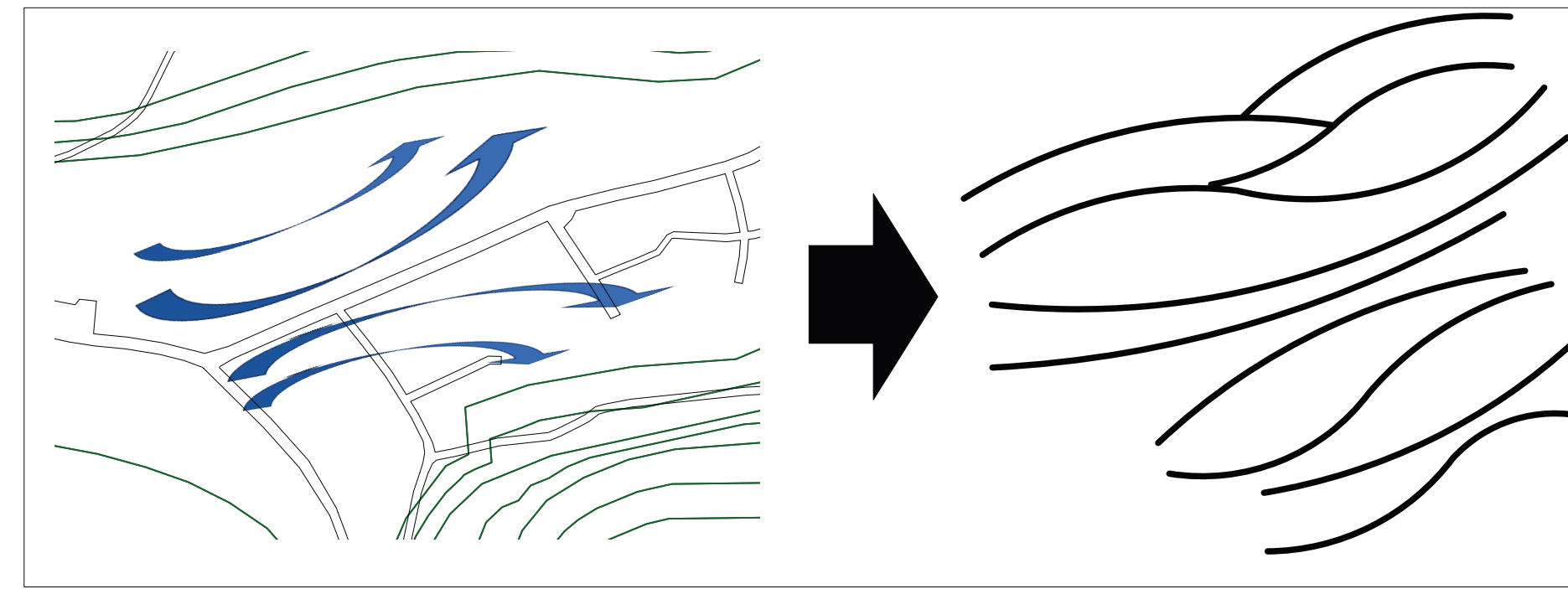
計画敷地は、仙酔島の西側に位置する図-2の赤線の範囲である。閉館している旧国民宿舎や野営場、炊事場、海水浴場がある。周囲は緑で囲まれており、自然を感じることができる。また、斜面になっており、計画敷地から海や夕日を眺めることができる景観の良さが魅力である。しかし、現在整備が不十分な土地であるため、計画敷地として提案する。



図-2 敷地図 出典:googleマップ

4. ダイアグラム

本計画敷地は、山に囲まれた場所に位置し風通りがいい場所である。そこで、風の流れを可視化し、用途に合わせて仕切ることができる壁を設けた。計画敷地は斜面でもあるため、山に沿うような棚田をイメージしたものとした。



5. 配置計画

配置計画は、主要通路を境界線とし北側と南側に分けて計画する。北側には、宿泊施設やカフェ、レストラン等の余暇できる場所を設け、南側には、個人や団体が仕事ができる場所を設けた

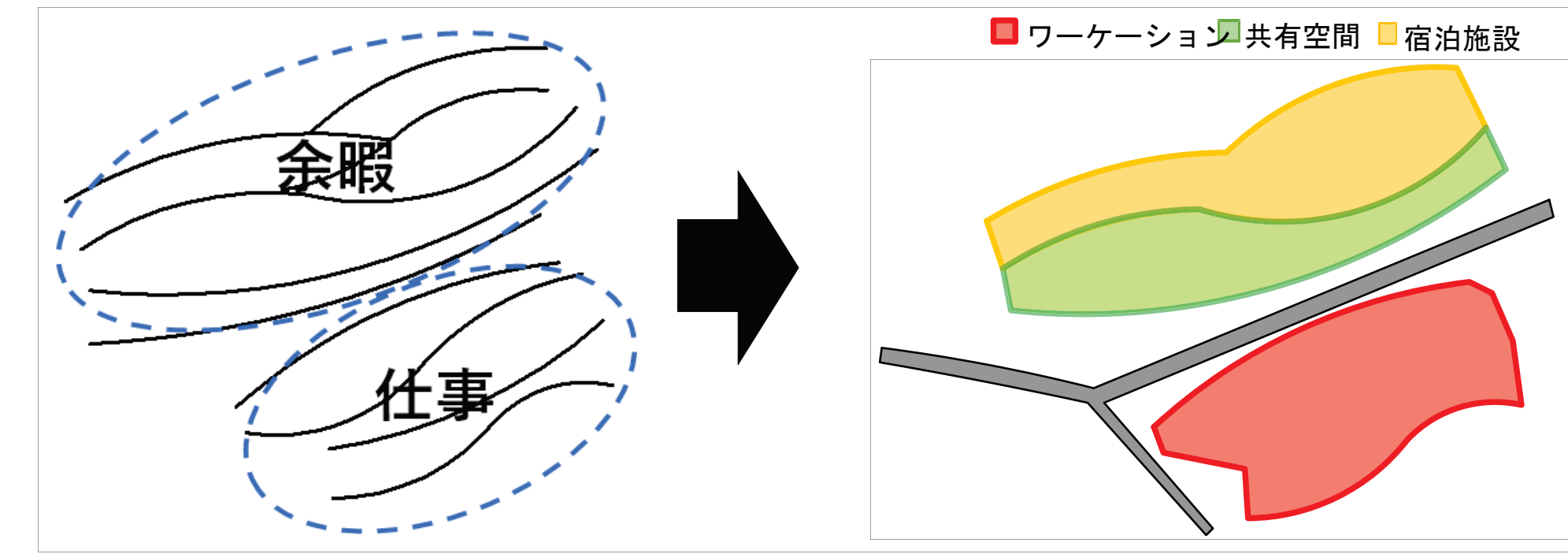


図-4 配置計画図

■ ワーケーション ■ 共有空間 ■ 宿泊施設

6. 諸室説明

1階ワークスペース

1階ワークスペースでは、ワーケーション利用客以外の海水浴やトレッキングを楽しむ人も立ち寄って休憩をすることができる場所であり、森林の方を眺めながら仕事ができる場所である

カフェレストラン

1階カフェレストランでは、ワーケーション利用客以外の海水浴やトレッキングを楽しむ人も立ち寄ってご飯を食べたり、お茶をすることができる所であり、宿泊施設利用客がご飯をすることができる場所である。

2階ワークスペース

2階ワークスペースでは、ワーケーション利用客が集中できようになり周りの視線を遮る工夫がされている。4人程度でワークできる場所である。

2階会議室

2階会議室では、海を眺めながら8人程度で会議をすることができる。

2階テラス

2階テラスでは、オーシャンビューを眺め、一息つけることができる。また、人が交流できる場所でもある。



3階大会議室

3階大会議室では、企業など大人数のワーケーション利用客が60人程度で会議をすることができる場所である

4階ワークスペース

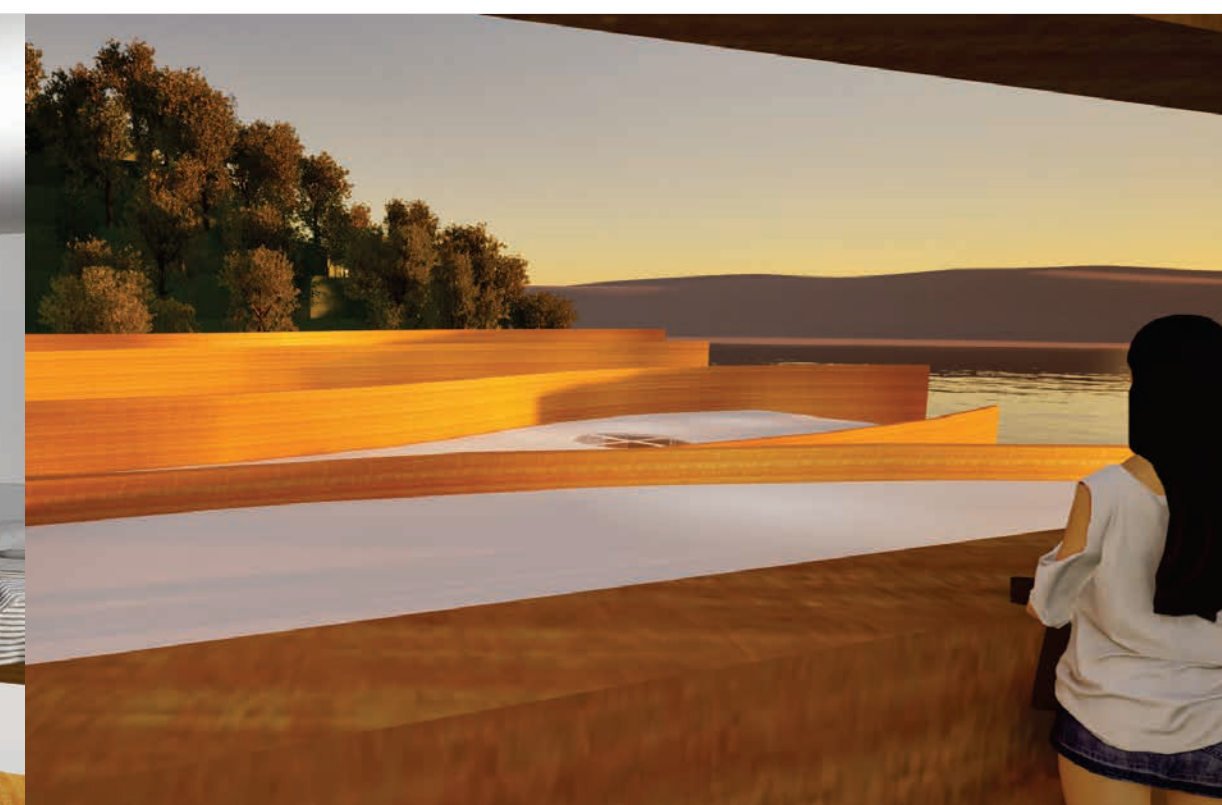
4階ワークスペースでは、3階ワークスペース同様、ワーケーション利用客が自由な席に座り、個人で集中したり、相席して交流もできる場所である。

4階会議室

4階会議室では、森林側を向いた会議室であり、2階会議室とは違った雰囲気でも会議をすることができる場所である。

宿泊棟 客室

宿泊施設居室は、宿泊棟2~5階に4人部屋が合計35室あり、最大140人収容できる。これは、現仙酔島の来客人数とワーケーションによる来客数を加味した数値である。



7. 立面図

東側立面図 (S=1/300)

南側立面図 (S=1/300)